

# 第2回ミニセミナーを実施しました



地域支援センター

今年度も小学校や中学校、各事業所等の方々を対象に、ミニセミナーを実施しています。

第2回は10月25日（火）に「特別な支援を必要とする児童生徒の理解と対応について～スクールカウンセラーの視点から～」というテーマで、いわき市スクールカウンセラーで臨床心理士・公認心理士の千葉翔平様を講師に招いて実施しました。発達障害の児童生徒の特性から、有効な支援とはどんなものかポイントをわかりやすく教えていただきました。また、感情コントロールに困難がある子どもの脳機能について説明をいただき、かかわる側が不快感情を受け入れることが子どもの安心感を高めるということを学ぶことができました。

参加した方々からは、以下のような様々な感想をいただきました。

- 子どもの気持ちや感情の表出を受けとめながら支援していくことの大切さを改めて感じることができました。
- 視覚的にわかりやすく提示することで、活動に見通しをもって取り組めたり、気持ちを切り替えやすくなったりすることがわかりました。
- 感情コントロールが難しい仕組みがわかり、不快感情を押さえつけてはいけないことがわかりました。
- 子どもの不快感情を受け入れることで、感情コントロールの脳機能を高めることができるということがわかり、子どもたちの表情や行動を細やかに受け止め、安心感を高めていけるよう、教員として努めていきたいと思いました。



次回のミニセミナーは、11月15日（火）16：00からです。「特別支援コーディネーターの役割～役割を知ると協働しやすい～」というテーマで、本校教諭の古川英樹が講演をします。お申し込みは随時受け付けておりますので、ぜひご参加ください。